



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社

コード番号 6835 URL <http://www.at-global.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 大嶋 章禎

問合せ先責任者 (役職名) IR部長

(氏名) 徳光 盛次

TEL 03-5437-6007

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	20,693	6.6	△2,269	—	△1,876	—	△2,173	—
25年12月期第3四半期	19,410	6.1	△3,276	—	△2,064	—	△2,347	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △2,373百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 △2,778百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△19.96	—
25年12月期第3四半期	△20.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	25,800	8,207	29.3
25年12月期	27,608	10,895	37.1

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 7,549百万円 25年12月期 10,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,300	14.6	700	—	550	△27.8	100	4.8	0.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	108,864,545 株	25年12月期	120,839,690 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	0 株	25年12月期	11,975,145 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	108,864,545 株	25年12月期3Q	116,103,509 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しや将来の予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なる可能性があります。
(詳細は、[添付資料]P. 3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年9月30日）における当社グループは、経営戦略の柱の一つであるソリューションビジネスを積極的に推進するとともに、アジア、ラテンアメリカおよび中東における新興市場での新規顧客開拓に努めてまいりました。また、顧客のIT導入やIT運用を支援する新規サービスを開発し、提供を開始しました。

このような取り組みの結果、医療機関向けソリューションや監視カメラソリューションなどの受注が好調となりました。地域別にみますと欧州では景気回復の遅れから売上が伸び悩んでいるものの、日本、米州およびアジア・オセアニアにおいて販売が伸長し、連結売上高は206億93百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

利益面では、為替変動の影響による売上原価や海外経費の増加がみられましたが、ソリューション営業の効果として高付加価値製品やサービスの売上が増加したことや、販売費および一般管理費の削減などに努めることでこれを吸収することができました。その結果、営業損失は22億69百万円（前年同期は32億76百万円の損失）となり、さらに為替差益4億57百万円（前年同期は12億73百万円）を計上し、経常損失は18億76百万円（前年同期は20億64百万円の損失）、四半期純損失は21億73百万円（前年同期は23億47百万円の損失）となりました。

当社グループの所在地域別のセグメント売上高の概要は、次のとおりです。

〔日本〕

日本では、IT設備需要が増加傾向にある中、ダイレクトタッチの営業を推進するとともに、代理店販売を強化するべくパートナープログラムを充実させるなどの営業活動に力をいれてまいりました。このような取り組みの結果、医療機関および製造業においては引き続き堅調に推移したほか、7～8月には文教市場向けの受注が増加し、国内における売上高は前年同期比4.4%増の94億82百万円となりました。

〔米州〕

米州では、経済環境の安定化が見られるようになった米国において公共案件の再開などから販売が好調となりました。中南米では、債務問題を抱えるアルゼンチンなどで販売が伸び悩む一方、ブラジルでの売上が伸長しました。これらの結果、前年同期比14.9%増の48億38百万円となりました。

〔EMEA（ヨーロッパ、中東及びアフリカ）〕

EMEAでは、欧州の長引く景気の停滞からデフレ懸念が強まり、イタリアやフランスなどでは競合他社との価格競争が激しくなっており案件単価の下落が見られました。また、ロシアへの経済制裁の一環としてEU諸国から同国へのハイテク製品の輸出規制があり、L3スイッチなど上位機種の販売が制限されております。一方で中東の新興市場では、ドバイにおける地下鉄内監視カメラソリューションなどの大型案件を獲得し受注は好調となりました。これらの結果、EMEA全体での売上高は43億2百万円となり、前年同期比1.8%減にとどまりました。

〔アジア・オセアニア〕

アジア・オセアニアでは、タイや中国での販売が減速傾向にあるものの、ニュージーランドや韓国の公共案件を始めとして、アジア・オセアニア全域で受注が好調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比18.8%増の20億69百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は258億円となり、前連結会計年度末に比べ18億7百万円減少いたしました。流動資産は176億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億54百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が10億83百万円、商品及び製品が11億37百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が40億25百万円減少したことによるものです。固定資産は81億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億53百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産が1億29百万円、無形固定資産が1億89百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は175億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億81百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が2億15百万円、長期借入金が6億35百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は82億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億88百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失21億73百万円を計上したことによるものです。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ7.8ポイント低下となる29.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上高及び利益の規模は、季節変動要因により第4四半期連結会計期間に大きくなる傾向があります。

当期の連結業績予想につきましては、平成26年2月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。なお、第1四半期連結会計期間において、アライドテレシス株式会社よりコンシューマネットワーク事業を分社化した株式会社コレガを新たに連結の範囲に含めておりません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,418,126	5,501,554
受取手形及び売掛金	8,687,869	4,662,178
商品及び製品	3,655,058	4,792,598
仕掛品	96,423	217,421
原材料及び貯蔵品	548,782	768,404
その他	1,695,442	1,835,757
貸倒引当金	△127,260	△157,905
流動資産合計	18,974,442	17,620,008
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,747,007	2,765,294
その他(純額)	3,298,201	3,150,909
有形固定資産合計	6,045,209	5,916,203
無形固定資産		
投資その他の資産	1,128,564	938,958
その他	1,476,216	1,341,189
貸倒引当金	△16,231	△15,646
投資その他の資産合計	1,459,984	1,325,543
固定資産合計	8,633,757	8,180,705
資産合計	27,608,200	25,800,713
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,401,431	2,488,138
1年内返済予定の長期借入金	1,518,665	1,733,981
未払法人税等	357,768	223,909
賞与引当金	229,253	442,119
前受収益	2,712,089	2,973,700
その他	2,751,827	2,464,837
流動負債合計	9,971,036	10,326,686
固定負債		
長期借入金	5,143,767	5,778,882
退職給付引当金	771,350	782,454
その他	826,049	705,218
固定負債合計	6,741,167	7,266,555
負債合計	16,712,204	17,593,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,977,178	9,977,178
資本剰余金	169,503	169,503
利益剰余金	658,331	△2,889,437
自己株式	△1,048,096	—
株主資本合計	9,756,917	7,257,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	865	4,332
繰延ヘッジ損益	41,008	50,906
為替換算調整勘定	451,454	237,284
その他の包括利益累計額合計	493,328	292,523
新株予約権	645,750	657,702
純資産合計	10,895,995	8,207,470
負債純資産合計	27,608,200	25,800,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	19,410,694	20,693,002
売上原価	7,456,974	7,823,366
売上総利益	11,953,720	12,869,635
販売費及び一般管理費	15,230,143	15,139,286
営業損失(△)	△3,276,423	△2,269,651
営業外収益		
受取利息	5,274	3,807
受取配当金	122	129
持分法による投資利益	8,345	19,113
為替差益	1,273,425	457,405
その他	22,181	20,875
営業外収益合計	1,309,348	501,330
営業外費用		
支払利息	83,290	93,909
その他	13,923	13,866
営業外費用合計	97,213	107,775
経常損失(△)	△2,064,288	△1,876,095
特別利益		
固定資産売却益	48	-
新株予約権戻入益	4,707	21,629
特別利益合計	4,755	21,629
特別損失		
固定資産売却損	3,147	-
事業再編損	8,910	-
特別損失合計	12,058	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,071,591	△1,854,466
法人税、住民税及び事業税	189,457	150,437
法人税等調整額	86,933	168,175
法人税等合計	276,391	318,612
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,347,983	△2,173,079
四半期純損失(△)	△2,347,983	△2,173,079

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,347,983	△2,173,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	3,467
繰延ヘッジ損益	△12,263	9,897
為替換算調整勘定	△418,204	△214,170
その他の包括利益合計	△430,287	△200,804
四半期包括利益	△2,778,271	△2,373,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,778,271	△2,373,884
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,079,073	4,208,986	4,381,435	1,741,197	19,410,694	—	19,410,694
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	532,847	98,423	6,088	5,744,559	6,381,918	△6,381,918	—
計	9,611,921	4,307,410	4,387,523	7,485,756	25,792,613	△6,381,918	19,410,694
セグメント利益又は損失(△)	△2,971,781	129,324	△208,896	△201,711	△3,253,064	△23,359	△3,276,423

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去 54,635千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等 △77,994千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,482,882	4,838,157	4,302,762	2,069,200	20,693,002	—	20,693,002
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	466,913	184,602	118,151	6,896,400	7,666,067	△7,666,067	—
計	9,949,796	5,022,759	4,420,913	8,965,600	28,359,069	△7,666,067	20,693,002
セグメント利益又は損失(△)	△2,872,917	620,157	△41,084	73,307	△2,220,537	△49,113	△2,269,651

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去46,451千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等△95,565千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月8日 取締役会	普通株式	349百万円	3円	平成24年12月31日	平成25年3月28日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成25年4月5日及び平成25年6月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が913,461千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において961,555千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年2月12日 取締役会	普通株式	326百万円	3円	平成25年12月31日	平成26年3月26日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年3月4日開催の取締役会において、自己株式の消却を決議し、平成26年3月18日に自己株式11,975,145株を消却しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式が1,048,096千円減少しております。